



平成 30 年 1 月  
高松市立下笠居中学校  
マナーアップリーダーズ

# 下笠居のマナーの実態は

## 小学校・中学校でアンケートを実施

下笠居中学校マナーアップリーダーズは、地域のマナーの実態を調査するため、下笠居小学校3年生から5年生の児童と下笠居中学校全校生徒対象にあいさつに関するアンケートを実施した。

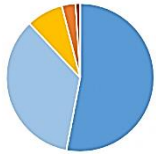
## あいさつは積極的内容に課題

アンケート調査の分析は、下笠居小学校児童会、下笠居中学校生徒会の代表で行う「下笠居リーダーズミーティング」で行った。その結果、地域の方や友だち、先生にあいさつをしている児童・生徒は9割を超えたが、「自分からできない」「表情が暗い」など内容に課題があることもわかった。

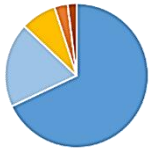


▲下笠居リーダーズミーティングの様子

地域の人に会ったら、あいさつをしている。



家庭で「いただきます」「ただいま」を言っている。



あいさつは相手が言う前に自分からしている。



あいさつをするときは、明るい声や表情をこころがけている。



▲マナーアップアンケートの一部



▲小中合同あいさつ運動の様子

あ…あかるく  
い…いつでも  
さ…先に  
っ…続けてひびく

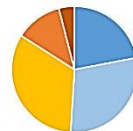
**地域の方や小学生と元気にあいさつ運動**  
下笠居リーダーズミーティングでは、よいあいさつとはどのようなあいさつか、小学生と中学生が交流できるあいさつ運動にするにはどのような工夫をすればよいか話し合わせ、六月、八月、十一月、一月に合同であいさつ運動を行った。



▲人権フェスティバルでの生徒会本部提案の劇の様子。下笠居小学校6年生も参加し、身近な問題について考えた。

「相手の気持ちを想像した言葉遣い」と呼びかけた。  
「気遣いのない言葉がしつこくつながるのではないか？」  
「人権集会に合わせた、いじめをテーマに劇を創作し発表した。」  
「友達に対して乱暴な言葉遣いをしない」  
「友達に呼ぶかけなくそう！」  
「いじめの種をなくそう！」

友達に対して乱暴な言葉遣いをしない



マナーアップアンケートで一番結果が悪かったのが、小学生・中学生とも「友だちに対する言葉遣い」だった。そこで、下笠居中学校生徒会では、人権集会に合わせて、いじめをテーマに劇を創作し発表した。「気遣いのない言葉がいじめにつながるのではないか？」  
「相手の気持ちを想像した言葉遣い」と呼びかけた。

生徒会本部役員が劇で小中学生に呼びかけ

いじめの種をなくそう！